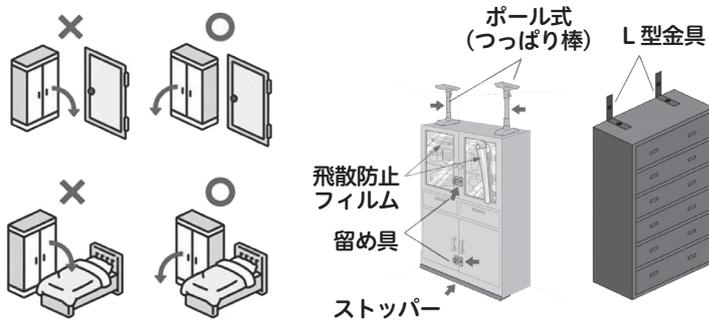


震災に備えて、在宅避難の準備は大丈夫？

1 在宅避難に必要なことは？

自宅の安全対策をしよう！

- 家具の配置を見直しましょう 家具の固定をしましょう



※在宅避難を送るためには、自宅の安全確保が重要

必要なものを備蓄しよう！

★ローリングストック
で備蓄しよう

- 飲料水
3日分で1人
9リットルが目安。

- 食料品
クラッカー、缶詰など
調理しないで食べられるもの。

- 携帯トイレ
トイレの平均回数は、
大人で1日5回。



※備蓄量は最低3日分、理想は7日分

2 避難する場所を知っていますか？

自宅



緊急避難場所で一時避難。安否情報や被害状況を報告したあと、自宅に被害がない場合は、在宅避難しましょう。

一時避難場所



地震発生後に隣近所の安否情報や被災状況などを集める場所です。場所や情報収集の方法は、地区ごとに決められています。

親戚・友人宅



被害により自宅で生活できない場合は、安全な親戚や友人宅などへ。

福祉避難所



避難所での避難生活が難しい高齢者や、障害のある人のための避難所です。総合福祉センターふじみや社会福祉施設などを福祉避難所として位置づけています。

避難所（地域防災拠点）



家屋の倒壊などにより自宅で生活できない人が避難生活を送ったり、在宅被災生活者が物資や情報を入手したりする場所です。避難した人が安全で秩序ある生活を送れるように、地区の役員の皆さんを中心として組織された運営委員会や避難者が協力して運営します。